

GREEN HOUSE

ミニプロジェクター

取扱説明書

GH-PJTCEシリーズ



はじめに

ご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。

(1 ページ)



本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」、「使用上のお願い」、「各部のなまえ」をよく読みます。

(3 ~ 19 ページ)



準備を行います。

(20 ~ 31 ページ)



本製品の電源をオンにします。

(23 ページ)

製品構成の確認

パッケージの中に下記のものが入っているかご確認ください。

●製品本体	1 台
●専用リモコン	1 個
●単 4 形乾電池 (リモコンテスト用)	2 個
●専用 AC アダプタ	1 個
●専用 AV ケーブル	1 本
●HDMI ケーブル	1 本
●取扱説明書 (本書)	1 部
●保証書	1 枚

●付属のリモコン用単 4 形乾電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

目次

はじめに	1
設置の手順	1
製品構成の確認	1
安全上のご注意	3
安全に正しくご使用いただくために	3
使用上のお願い	12
未永くお使いいただくために	12
各部のなまえ	15
各部名称	15
準備	20
専用 AC アダプタ接続	20
リモコンを準備する	21
電源操作	22
動作モードを切り替える	23
接続方法	24
設置と調整	26
外部メモリーを使用する	30
使用できる外部メモリー	30
外部メモリーを取り付ける	30
外部メモリー内のファイルを再生する	31
スマートフォンを接続する	35
スマートフォン接続例	35
プロジェクター設定	36
プロジェクター設定メニューの操作	36
トラブルシューティング	39
故障かな?と思ったら	39
その他	41
仕様	41
故障について	42

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示



この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険 異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、またはテクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。



警告 使用について



禁止

AC アダプタは、必ず付属の専用品を使用してください。
火災や感電の危険があります。



禁止

AC アダプタは、水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、またはテクニカルサポートへ
ご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業
務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。



警告 電源について



AC100V以外
使用禁止

電源ケーブルのプラグは、100ボルト交流電源(AC100V)コンセントにしっかり差し込んで
使用してください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の
危険があります。



定期的に
プラグを掃除

電源ケーブルのプラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源ケーブルのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災
の危険があります。定期的に電源ケーブルのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを
取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源ケーブルのプラグのお手入れは、電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外して行っ
てください。
電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があり
ます。



定格超過禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



警告 電源について



コード傷つけ
禁止

電源ケーブルやACアダプタのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災
や感電の危険があります。



破損コード
使用禁止

電源ケーブルや、AC アダプタのコードに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご
使用にならないでください。
破損した AC アダプタから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源ケーブルのプラグやコンセントに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントを使用しないでください。
コンセントに電源ケーブルのプラグをしっかりと差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電
の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コード引っ張り
禁止

電源ケーブルのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。
ケーブルを引っばると、電源ケーブルのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因と
なり、火災や感電の危険があります。



アース線を接続

安全のため、電源ケーブルにはアース線が付いています。
アース線は、必ず接続してください。
アース線を接続しないで使用すると、火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

アース線の接続は、事前に電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース
線の取り外しは、事前に電源プラグをコンセントから取り外してから行ってください。
感電の危険があります。



禁止

電源ケーブルは製品に付属の電源ケーブルを使用してください。また、製品に付属の電源ケー
ブルを、他の製品では使用できません。
火災や感電の危険があります。



警告 設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。



禁止

吸気口をふさがないでください。
吸気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。
プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として10cm以上）空けてください。



禁止

天吊りなどの特別な工事が必要な設置については専門業者にご相談ください。
お客様による設置は絶対におやめください。
落下してけがの原因となります。



警告 使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ際は、無理に取り扱わないでください。



禁止

子供だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。



禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。



警告 使用について



禁止

プロジェクターのレンズを覗かないでください。
動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

動作中にレンズにふたをしないでください。
ふたの部分が高温になり変形するおそれがあります。



禁止

動作中にレンズの前に物を置かないでください。
物が高温になり、破損や火災の原因となります。



禁止

プロジェクターの吸気口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



警告 電池について



指定外の電池
使用禁止

指定の電池を使用してください。
指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス(+)、マイナス(-)の極性に注意してください。



電池を
取り外して

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れてください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。
誤飲や窒息の危険があります。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

注意 使用について



コンセントから
プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源ケーブルのプラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で
使用する

適度な音量で使用してください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



禁止

外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息の危険があります。



禁止

投写中や投写終了後は、排気口付近を触らないでください。
排気口付近が高温になる場合があります、やけどの原因になることがあります

使用上のお願い

未永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、外部メモリーを取り出し、電源を切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外してください。
- 電源を入れたまま、電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外さないでください。
- 視聴の際は、投射画面から離れてご覧ください。
- 疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- 映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- 大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- 製品を使用する際は、なるべく風通しの良く製品の吸気口、排気口が塞がれない環境でご使用ください。
- 周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
- 耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
- 本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：| ACアダプタ | LEDユニット | 排熱用ファン | 透過液晶パネル)

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 排気口や吸気口に溜まったホコリなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の流れが悪くなり故障の原因になることがあります。

製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が異常発熱した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外してください。

結露 (つゆつき) について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

外部メモリーの取り扱いについて

- 外部メモリーに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 対応する再生可能な外部メモリーであっても、再生できない場合があります。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

- 対応する再生可能なファイル形式であっても、再生できない場合があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的や公衆に視聴させることを目的として、本製品を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。
- コンテンツの複製は私的利用のための複製に限られ、個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することが出来ません。
- コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。

免責事項

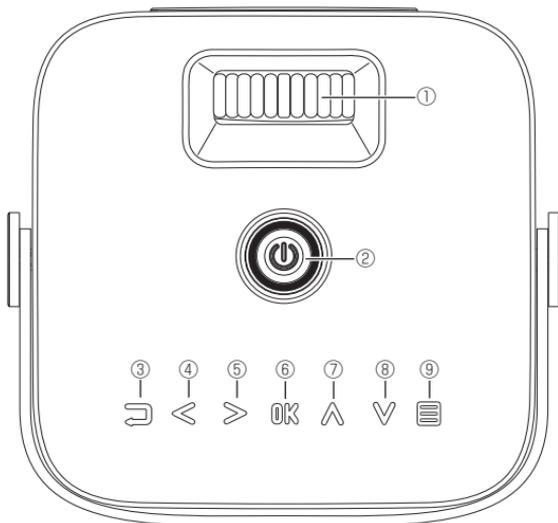
- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

各部のなまえ

各部名称

本体とリモコンの各部名称を紹介します。

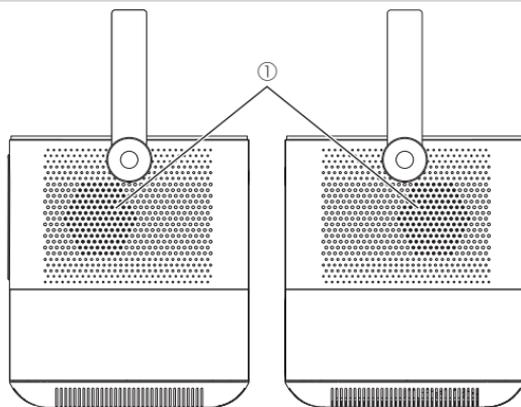
上面図



①		フォーカスアジャスター 焦点移動をします
②		電源のオン/オフをします インジケータLEDが点灯します
③		前の項目にもどります
④		カーソルを左に移動します / 音量を下げます
⑤		カーソルを右に移動します / 音量を上げます

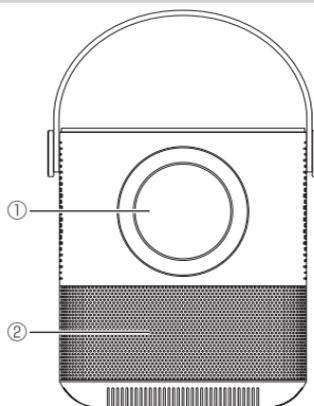
⑥		項目の決定をします
⑦		項目を上に移動します
⑧		項目を下に移動します
⑨		入力切替メニューを表示し ます

側面部



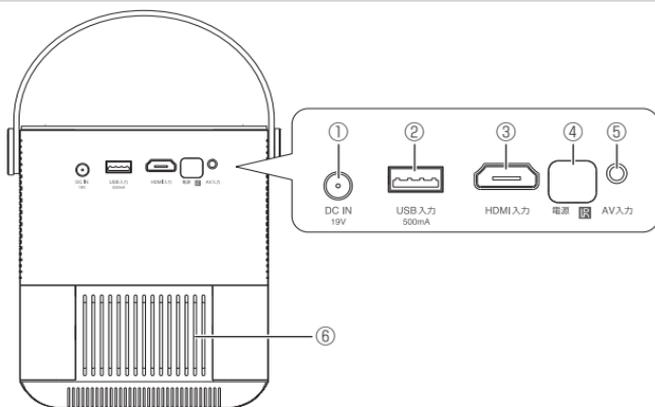
- | | |
|---|--------------------|
| ① | スピーカー
音声が出力されます |
|---|--------------------|

前面部



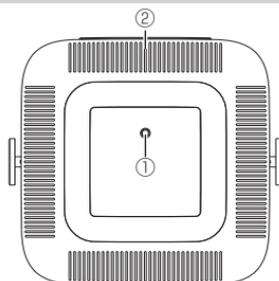
- | | | |
|---|---|--------------------------|
| ① |  | レンズ
映像が投写されます |
| ② |  | 排気口
ファンによって内部の熱を排気します |

背面部



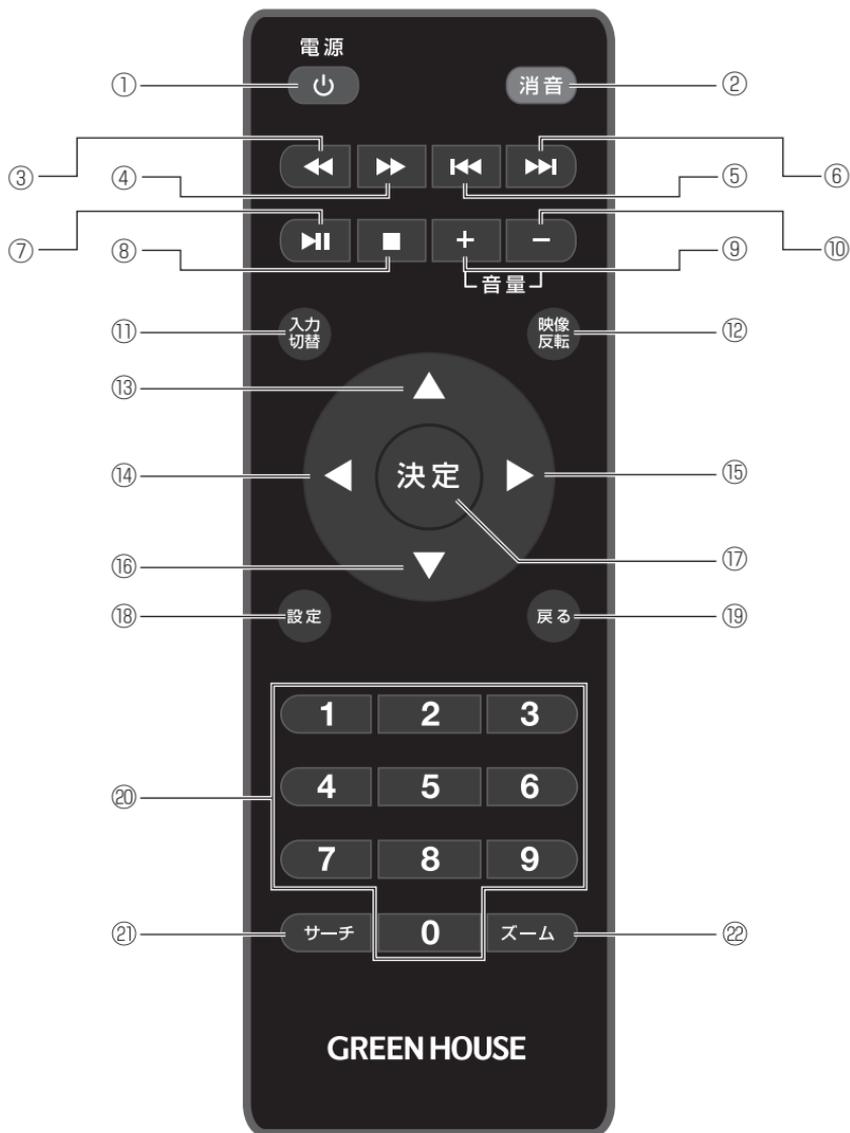
①	 DC IN 19V	専用ACアダプターを接続します	④	 電源  AV入力	リモコン受光部 リモコンからの操作を受信します
②	 USB入力 500mA	USBメモリーを接続します	⑤	 AV入力	AV入力ケーブルを接続します
③	 HDMI入力	HDMIケーブルを接続します	⑥		吸気口 外気を取り入れます

底面部



①		三脚取り付けネジ穴 三脚(1/4インチねじ)を取り 付けます	②		排気口 ファンによって内部の熱を排出 します
---	---	--------------------------------------	---	---	------------------------------

リモコン



①		電源のオン/オフをします
②		消音します
③		早戻し再生をします
④		早送り再生をします
⑤		前のファイルを再生します
⑥		次のファイルを再生します
⑦		ファイルを再生/一時停止します
⑧		ファイルの再生を停止します
⑨		音量を上げます
⑩		音量を下げます
⑪		入力切替メニューを表示します

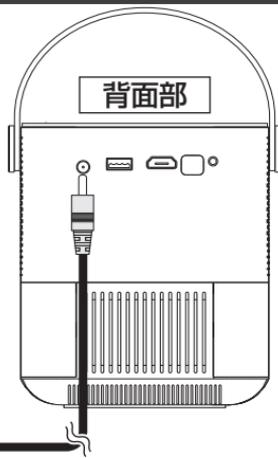
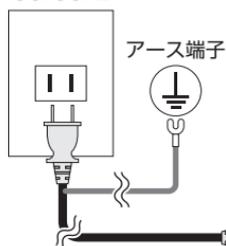
⑫		投写している映像を反転/回転します
⑬		カーソルを上移動します
⑭		カーソルを左移動します
⑮		カーソルを右移動します
⑯		カーソルを下移動します
⑰		項目の決定をします
⑱		プロジェクター設定メニューを表示します
⑲		前の項目に戻ります
⑳		数字を入力します
㉑		サーチ再生設定を表示します
㉒		画面のズーム/表示比率の変更をします

●上記は一例です。実行中のメニューによって動作は異なります。

専用 AC アダプタ接続

背面の  に付属のACアダプタを接続します。
 付属ACアダプタに付属の電源ケーブルを接続し、
 電源ケーブルのアース線をアース端子に、
 プラグをコンセントに接続します。

AC100V
50/60Hz



LEDの状態は以下の表の通りになります。

ACアダプタLED		背面LED		電源LED	
通電時	点灯	電源オン	緑点灯	電源オン	白点灯
非通電時	消灯	電源オフ	赤点灯	電源オフ	赤点灯

⚠ 注意

- 付属のACアダプタ以外を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ACアダプタの電源周波数は50Hz/60Hzのどちらの地域にも対応しています。
- 使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 通電したACアダプタと本体を接続した際に、端子部分に瞬間的に火花が出る場合があります。火花が出続けたり、煙が出た場合は直ちにご使用を中止してください。
- ACアダプタを接続すると、本体インジケータLEDの表示が「赤点灯」→「緑または白点灯」→「赤点灯」の順に点灯します。上記動作中は本体を起動しているため操作を受け付けません。動作が止まり、インジケータLEDが「赤点灯」するまで待ってから操作を行ってください。
- アース線は必ず接続してください。

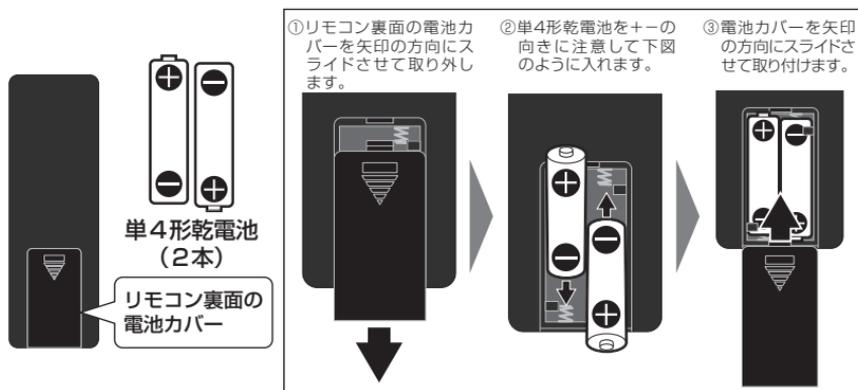
リモコンを準備する

初めてご使用になる場合は、リモコン裏面の電池カバーを開けて、単4形乾電池2本を取り付けてから、電池カバーを閉めて使用してください。

電池を交換する場合は、市販の単4形乾電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

- 長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
- 付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。
- 本製品のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号が遮られていると動作しません。
- リモコンを落としたり、水や液体をかけるなどしないでください。
- リモコンを使用する際は熱や湿気のないところで使用してください。

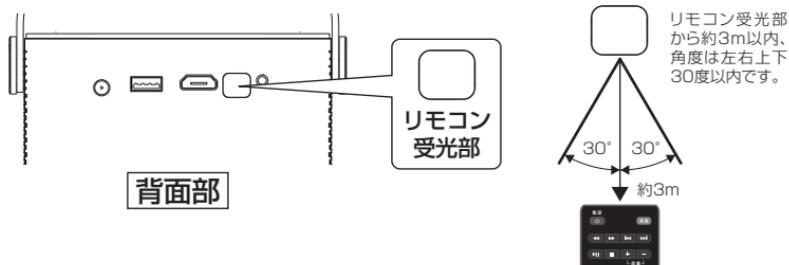
リモコン用電池の入れ方



リモコンの使い方

リモコンは、本体背面部にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

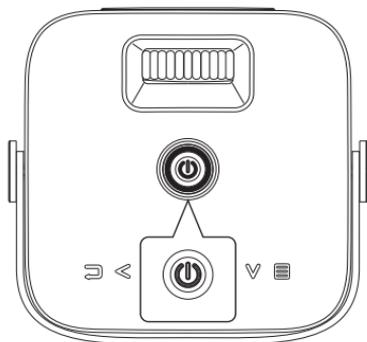
※リモコンの受光範囲は受光部から約3m以内、角度は左右上下30度以内です。



電源操作

本体上部の^{電源}ボタンかリモコンの^{電源}ボタンを押すと電源がオンになります。
電源をオンしてから約10秒ほどで投写が始まります。

電源を切るときは、^{電源}ボタンか^{電源}ボタンを押すと、画面右上にポップアップメニューが表示され、もう一度ボタンを押すと電源が切れます。



上面部

電源ボタンを押す
シャットダウン
その他のキー
キャンセル

ポップアップメニュー



リモコン

- 電源をオンしてから映像が投写されるまで多少の時間がかかります。
- 本体内部の温度が異常に高いと保護のため映像が投写されません。その場合しばらく待ってから電源をオンにしてください。
- 電源をオンするとインジケータLEDの色が赤色から緑色/白色に切り替わります。

動作モードを切り替える

各動作モードの切り替え方法をご紹介します。

電源オン後、画面が投写されている状態で本体上面の  ボタンかリモコンの  ボタンを押すと、メニューが表示されます。



- AV …… 映像入力端子  に接続した機器の映像を表示します
- HDMI …… HDMI入力端子  に接続した機器の映像を表示します
- メディアプレーヤー …… microSD/USB メモリーを読み込み、メディアプレーヤーに移行します

本体上面の   かりモコンの  で項目を選択し、OK /  ボタンで確定してください。

リモコンの  で音量を0～100の範囲で調整できます。

- AVモード、HDMIモードでは入力がないまま5分経過すると、無信号電源オフ機能により自動的に電源が切れます。
- 動作切替メニューは無操作で5秒経過すると閉じます。

接続方法

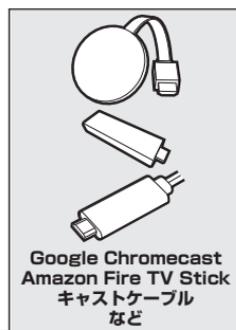
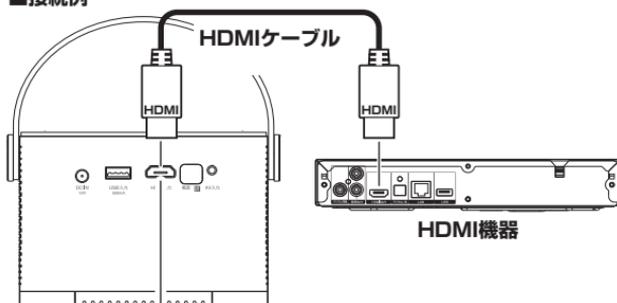
映像・音声入力端子を使用した機器の接続方法を紹介します。

- 機器の接続は、必ず電源を切って AC アダプタをコンセントから抜いてから行ってください。
- 接続機器の操作や接続方法は、接続機器の取扱説明書を参照してください。

HDMI 機器の接続 / 表示

1. HDMIケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「HDMI端子」にHDMIケーブルでHDMI機器を接続したり、Google ChromecastやAmazon Fire TV Stick、キャストケーブルなどを接続します。

■接続例



3.  /  電源 ボタンを押すと、電源が入り電源 LED が緑点灯します。
4.  /  入力切替 ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
5.  /  ボタンで「HDMI」を選択して  決定 ボタンを押します。
6.  /  電源 ボタンを押すと電源が切れます。



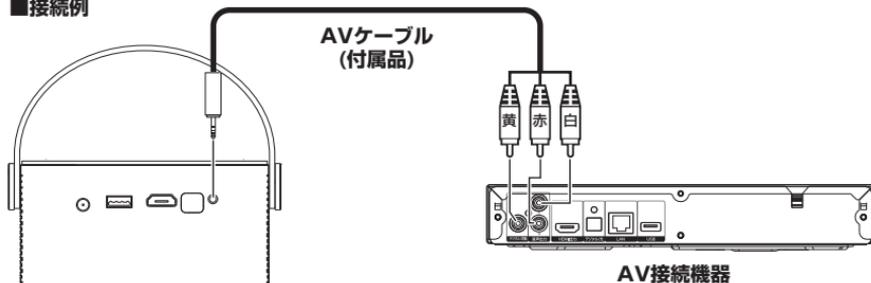
動作切替メニュー

- Google ChromecastやAmazon Fire TV Stick、キャストケーブルなどの使用方法や制限は各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 接続している HDMI 機器の再生中に本製品から音声がでない場合、接続機器のデジタルオーディオ出力の設定を確認し、「自動」か「PCM」モードに設定されていることを確認してください。
- スマートフォンや iPhone など接続する端末により、変換コネクタ(別売)が必要になる場合があります。
- MHLには対応していません。

AV機器の接続 / 表示

1. AVケーブルを接続する前に本体の電源を切り、ACアダプタのコンセントを抜いてください。
2. 本体の「AV端子」に付属の AVケーブルで、AV 機器を接続します。

■接続例



3.  /  ボタンを押すと、電源が入り電源 LED が緑点灯します。
4.  /  ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
5.  /  ボタンで「AV」を選択して  /  ボタンを押します。
6.  /  ボタンを押すと電源が切れます。



動作切替メニュー

- 機器側の音量を最小にしてから接続してください。
- 接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。
- すべての入力機器を動作保証するものではありません。

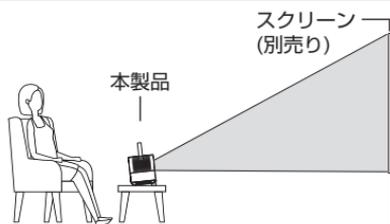
設置と調整

製品の設置と調整方法を紹介します。

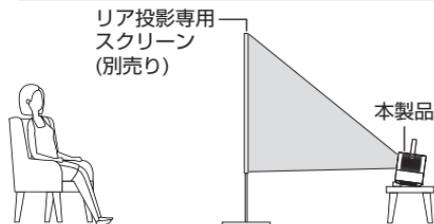
投影方法

投影方法には、スクリーン前から投影するフロント投影とスクリーン後ろから投影するリア投影があります。

フロント投影



リア投影



- リア投影の場合、リア投影専用のスクリーン(別売り)が必要になります。
- リア投影の場合、映像が反転するので  ボタンを押して、映像を反転・回転させてください。

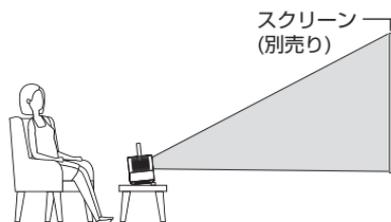
反転ボタンを押すごとに、下記のように反転・回転します



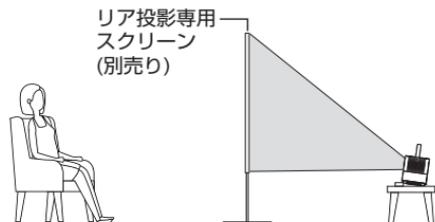
設置方法

フロント投影

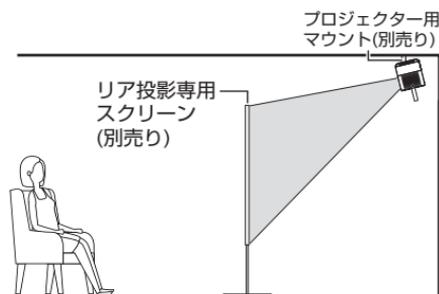
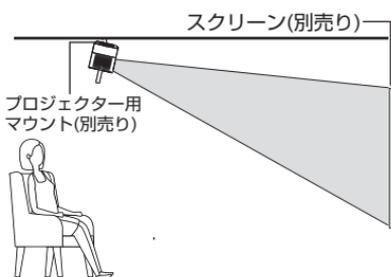
■テーブルなど台上に設置する場合



リア投影



■天井など高所に設置する場合



- 本製品が落下・転倒しないようしっかりと固定してください。
- 本製品とスクリーンの距離が、最小約 1m、最大 4m の範囲になるように設置してください。

三脚(別売り)を使った角度調整

■三脚の取り付け方法

本体底面部の「三脚取り付けネジ穴」に三脚(別売り)のカメラ取り付けネジ(1/4インチネジ)を取り付けてください。



- 三脚の使用方法は、三脚の取扱説明書を参照してください。
- すべての三脚の使用を保証するものではありません。
- 三脚を使用の際は、落下や転倒にお気をつけてください。

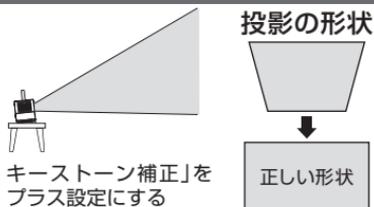
映像の補正方法

■キーストーン補正（ソフトウェア台形補正）

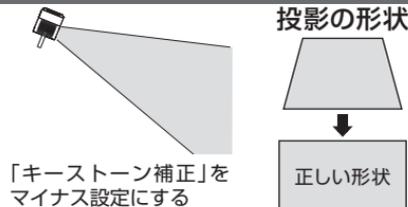
下図のように正面から投影出来ない場合、画面の形状が変化します。

本体設定の「キーストーン補正」設定を変更し、投影が正しい形状になるように調整してください。台形補正は $\pm 30^\circ$ の範囲で調整可能です。

上向きに角度がある場合

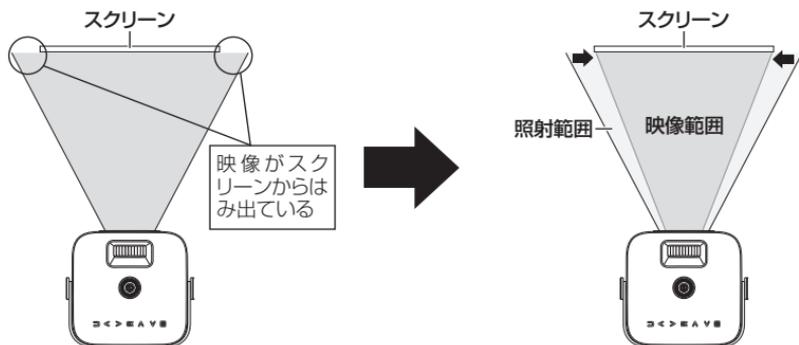


下向きに角度がある場合



■デジタルズーム（映像縮小）

下図のように映像がスクリーンからはみ出る場合、「デジタルズーム」設定を調整してスクリーンの大きさに調整してください。



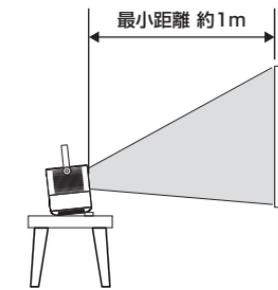
※映像に縁どりして小さくしているので照射範囲は小さくなりません

- 映像補正を使用しても補正しきれない場合、設置位置や角度を見直してください。
- 映像補正を使用する場合、表示される画面の有効解像度が小さくなります。
- 台形補正を強く設定した際に映像の縁が欠けたり、画面の上下でフォーカスがずれる場合があります。
- 本製品の投影は、標準で上方向に 6° オフセットされています。

フォーカス調整

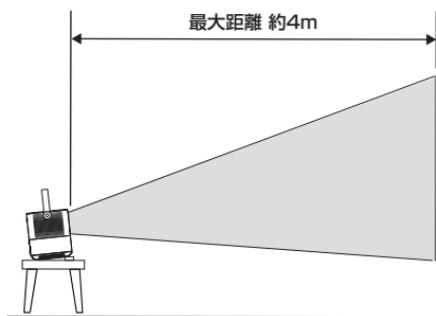
投影した画像がぼやけて見える場合、フォーカス(焦点)を調整してください。

■本製品とスクリーンが近い場合に投影画像がぼやけて見える



本体上面のフォーカスアジャスターを右（レンズが飛び出す方向）に回すとフォーカス距離が近くなります。

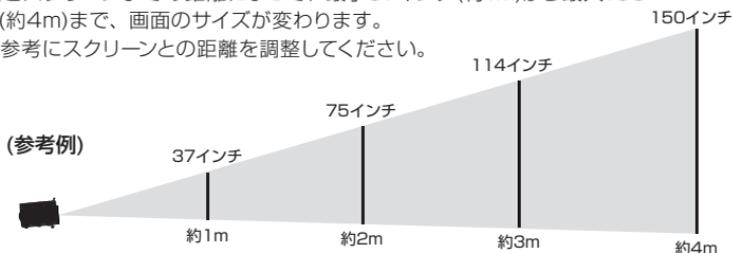
■本製品とスクリーンが遠い場合に投影画像がぼやけて見える



本体上面のフォーカスアジャスターを左（レンズが引っ込む方向）に回すとフォーカス距離が遠くなります。

本製品とスクリーンまでの距離によって、最小37インチ(約1m)から最大150インチ(約4m)まで、画面のサイズが変わります。

下図を参考にスクリーンとの距離を調整してください。



- 仕様範囲外でのフォーカス調整は推奨対象外です。
- 台形補正を強く設定したときに、画面の上下でフォーカスが合わないことがあります。

外部メモリーを使用する

使用できる外部メモリー

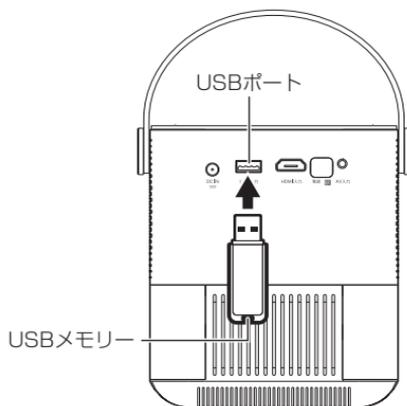
以下の外部メモリーに対応しています。

・ USB メモリー (～ 32GB)

- すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
- FATやFAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ使用でき、その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしておりません。

外部メモリーを取り付ける

本体の USB ポートに向きをよく確認して取り付けます。



- 外部メモリーの取り付け / 取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 搭載されているUSBポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品やUSBメモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- USBの規格では、USBポートから供給できる最大電流は500mAまでと決められています。
- 搭載されているUSBポートに接続している機器が500mA以上の電流を消費してしまった場合、規格を超えてしまうことになり、システムが不安定になったり、機器が破損したりすることがあります。
- USBハブなどを使用した複数の外部メモリーの利用時の動作保証はしておりません。

外部メモリー内のファイルを再生する

1. / ボタンを押すと、電源が入り電源オンLED が緑点灯します。
2. / ボタンを押すと動作切替メニューが表示されます。
3. / ボタンで「メディアプレーヤー」を選択して / ボタンを押します。

再生するファイルの選択

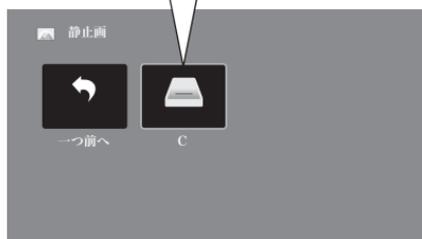
1. 再生メディア選択画面が表示されますので、 / ボタンで「静止画」「動画」「音楽」から再生したいファイルの種類を選択し / ボタンを押します。
2. ファイル選択画面が表示されますので、再生したいファイルの入ったメディアを選択します。
3. フォルダがある場合は、再生したいファイルが入ったフォルダを選択し、 / ボタンを押します。
4. 再生したいファイルを選択し、 / ボタンを押します。

外部メモリーが
✓ 挿入されている
✗ 挿入されていない



再生メディア選択画面

外部メモリーは
Cと表示されます



ファイル選択画面

●USB ハブや、複数のパーティションが切られた外部メモリーの利用時の動作保証はしていません。

静止画ファイル

ファイル選択画面で再生したい静止画を選択すると、選択したファイルからスライドショーが開始します。

スライドショーの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■静止画ファイルサブメニュー



◀▶ ボタンで項目を合わせて、●決定 ボタンを押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は ▼ ボタン、再度表示したい場合は、●決定 ボタンを押します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①			スライドショーの再生/一時停止
②			前のファイルへ
③			次のファイルへ
④			停止(ファイル選択画面へ戻ります)
⑤			リピート再生します※1
⑥			BGMを再生/停止します※2
⑦			選択フォルダのファイルリストを表示します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑧			選択ファイルの詳細情報を表示します
⑨			右方向に90°回転します
⑩			左方向に90°回転します。
⑪			ズーム(拡大):約1倍・2倍・4倍・8倍に拡大表示します
⑫			ズーム(縮小):1倍・1/2倍・1/4倍に縮小表示します
⑬			ズーム(拡大)中に視点移動します
			1回押す:天井背面投影 2回押す:天井投影 3回押す:背面投影

※1: ALL:すべてのファイルをリピート再生します
<1>:1つのファイルをリピート再生します。
off:リピート再生しません

※2:静止画と同じフォルダに音楽ファイル(MP3ファイル)を入れるとBGMとして音楽が再生されます。
もう一度選択すると再生が停止します。

●対応している静止画のファイル形式は、「JPG」「BMP」「PNG」です。

音楽ファイル

ファイル選択画面で再生したい音楽ファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。音楽ファイルの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■音楽ファイルサブメニュー



▶▶ ボタンで項目を合わせて、**決定** ボタンを押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は ▼ ボタン、再度表示したい場合は、**決定** ボタンを押します。

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①	⏸	▶	音楽ファイルの再生/一時停止します
②	◀◀	◀	早戻しします
③	▶▶	▶	早送りします
④	◀	◀◀	前のファイルへ
⑤	▶	▶▶	次のファイルへ
⑥	■	■	停止(ファイル選択画面へ戻ります)

	サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑦	🔄	↻	リピート再生します※1
⑧	AB	↻	区間指定のリピート再生をします※2
⑨	🔊	消音	消音します
⑩	📄	📄	選択フォルダのファイルリストを表示します。
⑪	ℹ	ℹ	選択ファイルの詳細情報を表示します
⑫	🔍	サーチ	サーチ再生します※3

※1: ALL:すべてのファイルをリピート再生します
 <1>:1つのファイルをリピート再生します。
 off:リピート再生しません

※2: 音楽再生中に選択すると「A-set」と表示され、再度 **決定** ボタンを押すと「AB-set」と表示され、この間のリピートを繰り返します。
 終了したいときは、もう一度 **決定** ボタンをおして「なし」になり、リピートを中止します。

※3: ファイル中の指定した時間から再生することができます。
 検索時間入力メニューが表示されますので、指定時間をリモコンの数字キーで入力して **決定** ボタンを押すと、カーソルが「OK」に移動しますので、再度 **決定** ボタン押すと指定した時間から再生します。



●Unicode 文字 (UTF-8 形式) の ID3 タグが表示可能です。

動画ファイル

ファイル選択画面で再生したい動画ファイルを選択すると、選択したファイルが再生されます。動画ファイルの操作は、画面下のサブメニューからリモコンのボタンから行います。

■動画ファイルサブメニュー



ボタンで項目を合わせて、 ボタンを押して決定します。

サブメニューの表示を消したい場合は ボタン、再度表示したい場合は、 ボタンを押します。

サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
①		動画ファイルの再生/一時停止します
②		早戻し再生します
③		早送り再生します
④		前のファイルへ
⑤		次のファイルへ
⑥		停止(ファイル選択画面へ戻ります)
⑦		リピート再生します※1
⑧		区間指定のリピート再生をします※2

サブメニューアイコン	リモコンボタン	内容
⑨		選択フォルダのファイルリストを表示します。
⑩		選択ファイルの詳細情報を表示します
⑪		スロー再生: 1/2・1/4・1/8・1/16の速でスロー再生します
⑫		ステップ再生: ボタンを押すごとに1コマずつ再生します。
⑬		サーチ再生します※3
⑭		画面表示サイズ変更: ボタンを押すごとに「自動」「16:9」「4:3」に切り替わります。
		消音 消音します
		1回押す: 天井背面投影 2回押す: 天井投影 3回押す: 背面投影

※1: ALL: すべてのファイルをリピート再生します
<1>: 1つのファイルをリピート再生します。
off: リピート再生しません

※2: 音楽再生中に選択すると「A-set」と表示され、再度 ボタンを押すと「AB-set」と表示され、この間のリピートを繰り返します。

終了したいときは、もう一度 ボタンをおして「なし」になり、リピートを中止します。

※3: ファイル中の指定した時間から再生することができます。
検索時間入力メニューが表示されますので、指定時間をリモコンの数字キーで入力して ボタンを押すと、カーソルが「OK」に移動しますので、再度 ボタン押すと指定した時間から再生します。



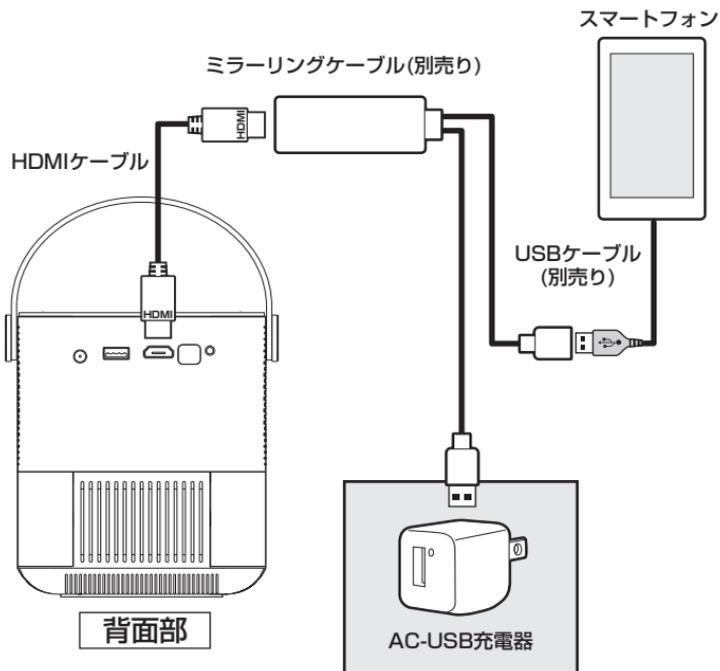
●対応しているファイル形式であっても、ファイルによっては再生出来ない場合があります。

スマートフォンを接続する

スマートフォン接続例

ミラーリングケーブル(別売)などを使用すれば、スマートフォンの画面をプロジェクターに表示することが可能です。

接続例



- 上図は接続方法の参考例です。
- 接続機器やスマートフォンの使用方法や制限は各機器に付属の取り扱い説明書をご覧ください。
- 動画配信サービスやアプリケーションの対応可否は各サービスのポリシーまたは規約をご確認ください。

プロジェクター設定

プロジェクター設定メニューの操作

プロジェクターの設定を変更するにはプロジェクター設定メニュー画面で変更します。

設定画面の表示と操作方法

リモコンの **設定** ボタンを押すとプロジェクター設定メニュー画面が表示されます。

リモコンの **決定** ボタンで項目を選択し、**決定** ボタンで確定します。

※前の項目へ戻る場合は、**設定** ボタンを押してください。

映像設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
映像	画像モード選択	標準			①
		鮮やか			
		ユーザー	コントラスト	0 ~ 100	②
			明るさ	0 ~ 100	
	色		0 ~ 100		
	シャープネス		0 ~ 100		
		ソフト			①
	色温度	暖色系			③
		寒色系			
		中性色			
	画面サイズ	16:9			④
		4:3			
		自動			
		ジャスト			
		パノラマ			
		ズーム 1			
ズーム 2					
ノイズリダクション	オフ			⑤	
	低				
	中				
	高				
	標準				

①画像の鮮明度を「標準」「ソフト」「ユーザー」「鮮やか」から選択できます。 ※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

②「ユーザー」を選択したときに「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」を調整できます。初期値はそれぞれ「50」となっています。

③色温度を「暖色系」「寒色系」「中性色」から選択できます。

④画面サイズを「16:9」「4:3」「自動」から選択できます。AV 入力使用中は加えて「パノラマ」「ズーム 1」「ズーム 2」、HDMI 入力使用中は更に「ジャスト」が選択できます。

⑤AV 入力端子または HDMI 入力端子を使用中に選択できます。「オフ」「低」「中」「高」「標準」が選択できます。

●「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」は **決定** ボタンで項目確定後に **決定** ボタンで調整できます。

●「ユーザー」の初期値は、「コントラスト」「明るさ」「色」「シャープネス」はそれぞれ「50」、「色温度」=「中性色」、「画面サイズ」=「自動」になっています。

音声設定

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	5 階層	解説
音声	音楽モード選択	標準			①
		音楽			
		スポーツ			
	ユーザー	ユーザ	高音	0 ~ 100	②
			低音	0 ~ 100	
	バランス	-50 ~ 50			③
	自動ボリューム	オフ			④
		オン			
	サラウンド	オフ			⑤
		オン			

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ①音声モードを「標準」「音楽」「スポーツ」「ユーザー」から選択できます。
「ユーザー」を選ぶと「高音」「低音」が選択できます。
- ②「高音」「低音」が調整できます。
- ③スピーカーの左右バランスを調整できます。初期値は「0」です。
- ④「オン」にすると初期音量を小さく調整します。
- ⑤「オン」に設定すると広がりがある音に調整します。

- 「高音」「低音」「バランス」は  ボタンで項目確定後に  ボタンで調整できます。
- 「ユーザー」の初期値は、「高音」「低音」はそれぞれ「50」、「バランス」の初期値は「0」になっています。

設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説	
設定	言語 / language	日本語	①	
	工場出荷時設定		②	
	投影モード	正面		③
		天井背面		
		天井		
		背面		
	キーストーン補正	-22 ~ +22	④	
	デジタルズーム	0 ~ 10	⑤	
インフォメーション		⑥		

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

- ①メニュー言語を 21 言語から選択できます。
- ②設定を初期化し、工場出荷状態にします。
工場出荷状態にした際、最初に言語設定画面が表示されます。
- ③設置場所に合わせて映像の向きを変更することができます。
- ④映像が台形に表示されているときに調整します。(P.28)
初期設定は「2」です。
- ⑤映像がスクリーンからはみ出しているときに調整します。
初期設定は「0」です。



言語設定画面

時計設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
時計	自動シャットダウン	オフ	①
		10分	
		20分	
		30分	
		60分	
		90分	
		120分	
		180分	
		240分	

※灰色の項目が工場出荷時の初期設定です。

①設定した時間経過後、シャットダウンします。「オフ」「10分」「20分」「30分」「60分」「90分」「120分」「180分」「240分」を選択できます。

- 設定時間の1分前になると画面にカウントダウンが表示されます。
- 設定時間中に電源をオフにすると自動シャットダウンの設定は解除されます。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

製品本体

- 電源が入らない**
- 専用ACアダプタと電源ケーブルのプラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。(P.20)
 - 本体の内部温度が高くなっていませんか。
内部の温度が異常に高いと保護のため電源が入りません。しばらく待ってから電源をいれてください。(P.22)
- 使用中に電源が切れる**
- プロジェクターメニューの自動シャットダウンを設定していませんか。(P.38)
 - 無信号電源オフ機能が働いていませんか。
 - 本体の内部温度が高くなっていませんか。
- 映像が出ない**
- 接続している入力を選んでいますか。
本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力切替ボタンを再度押してください。(P.23)
 - 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。(P.24~25)
 - 各設定が正しく調整・設定されていますか。(P.28、P.36)
 - 解決しない場合は、プロジェクター設定メニューから工場出荷時設定を行ってみてください。(P.37)
- 映像が歪む**
- 正しく設置されていますか。(P.27)
 - 台形状に歪む場合は台形補正を手動で行ってください。(P.28)
 - 映像のアスペクト比を変更してください。
- 映像がぼやける**
- レンズのフォーカスは合っていますか。(P.29)
 - 投写画面と製品本体が正しい角度で設置されていますか。(P.27)
 - 投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。(P.29)
 - レンズなどが結露していませんか。
気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると、レンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまでお待ちください。
 - 台形補正を強く補正している場合、画面の上下でフォーカスがずれることがあります。設置環境を見直して補正量を下げてください。

映像が乱れる

- 製品本体に接続している信号ケーブルが断線していませんか。

映像が突然映らなくなった

- 本体の内部温度が高くなっていませんか。
内部の温度が異常に高いと保護のため、LED ランプが消灯します。一度電源を切り、しばらく待ってから電源をいれてください。
- 吸気口または排気口を塞いでいませんか。
内部に使用されている透過液晶パネルの温度が高くなると、映像が乱れることがあります。このような場合は電源を切り吸気口を塞いでいるものを取り除き、しばらく待ってから電源を入れてください。

リモコンがきかない

- 電池の+、-の向きを確認してください。(P.21)
- 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.21)
- リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.21)
- リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。

すべての設定を初期設定に戻したい

- プロジェクター設定メニューの「設定」から「工場出荷時設定」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.37)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてから専用ACアダプタのプラグを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

メディアプレーヤーモード

動画ファイルや音楽ファイルが再生できない

- 対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

その他

仕様

画面サイズ	37～150インチ
投写距離	約1.0m～4.0m
投影比	1.2:1
明るさ	4200ルーメン(77 ANSI ルーメン)
コントラスト比	1000:1
最大表示解像度	1280×720
対応入力信号(HDMI)	最大1920×1080(圧縮表示による対応)
対応外部メモリー	USBメモリー(最大32GB) ※FAT32でフォーマットされた外部メモリーのみ対応
対応ファイル形式	静止画:JPEG/BMP/PNG 音楽:MP3 動画:MPEG1/MPEG2
スピーカー	2chステレオ(3W×2)
搭載端子	USBポート×1 AV入力端子×1 HDMI入力端子×1 電源入力端子×1
消費電力	最大64W
電源(ACアダプタ)	入力:AC100V 50Hz/60Hz 出力:DC19V/3.42A
光源寿命(LED)	約5万時間
動作温度範囲	5℃～35℃
動作湿度範囲	20%～80%(結露なきこと)
動作音	約35dB
焦点調節	手動
台形補正	ソフトウェア補正
外形寸法	W145×D132×H154(mm) ※ハンドル、突起部を除く
本体重量	約1030g

- ・対応ディスクフォーマット・対応ディスクタイプ・対応外部メモリーは、すべてのディスク・外部メモリーやすべての容量に対し、再生を保証するものではありません。
- ・対応ファイルは、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-6687-4007
受付時間	10:00～12:00 / 13:00～17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266 (24時間受付)
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5階
ホームページ	https://www.green-house.co.jp/

- ・故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。
- ・お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
- ・テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

- ・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
- ・本製品は、日本国外では使用できません。
- ・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
- ・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
- ・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
- ・This product can not be used outside Japan.
- ・We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
- ・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。

※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口

テクニカルサポート

受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土日祝日をのぞく弊社営業日)

テクニカルサポートダイヤル

03-6687-4007

FAX 03-5421-2266 (24時間受付)

故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。

グリーンハウスホームページ

<https://www.green-house.co.jp/>

GREEN HOUSE

株式会社グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F

<https://www.green-house.co.jp>

Ver.1.0